

「第4次古賀市子ども読書活動推進計画」にかかる読書活動アンケート調査について(概要)

1. 目的

本計画の策定にあたり、「第3次計画(H29策定)」の推進による読書状況や意識の変化を比較し、成果や課題を把握するため、アンケート調査を実施する。

2. 対象

保育所等施設(乳幼児とその保護者)、小学校(6年生)、中学校(3年生)、高校(2年生)

3. 調査内容

(1) 乳幼児とその保護者 ⇒別紙参照

【方法】『市内の保育所等施設の園児とその保護者』を対象に、新たに「独自調査」を実施し実状を把握する。

【項目】「読み聞かせの状況」「本との関わり」「市立図書館の利用状況」等

- Q.1) お子さんの年齢を教えてください。
- Q.2) お子さんに読み聞かせをしていますか。
- Q.3) お子さんにどのくらいの頻度で、読み聞かせをしていますか。
- Q.4) 読み聞かせに使う本は、どのように用意していますか。
- Q.5) 読み聞かせの本を選ぶ際、参考にしているものは何ですか。
- Q.6) お子さんへの読み聞かせを始めた時期は、いつ頃ですか。
- Q.7) 読み聞かせをしていない、できない理由があれば教えてください。
- Q.8) あなたは(保護者)は、本を読むことが好きですか
- Q.9) あなたは(保護者)は、幼少期に、主に誰から本を読んでもらいましたか。
- Q.10) お子さんは、読み聞かせを含め、1か月に何冊くらい本を読む、または見ますか。
- Q.11) お子さんのために、市立図書館にどれくらい行きますか。
- Q.12) 市立図書館を利用しない理由があれば教えてください。

(2) 小学生、中学生

【方法】今回、独自調査は実施せず、文部科学省が『全国の小学校(6年生)・中学校(3年生)』を対象に、毎年実施している「全国学力・学習状況調査(H28、H31、R3分)」を活用し、福岡県・全国値と比較しながら 経年変化と実状を把握する。

【項目】「読書への関心」「読書の状況」「図書館の利用状況」

- Q.1) 読書は好きですか。
- Q.2) 平日(学校の授業時間以外)、1日にどれくらいの時間、読書をしますか。
- Q.3) 学校図書館や市立図書館にどれくらい行きますか。

(3) 高校生 ⇒別紙参照

【方法】『市内の高校生(2年生)』を対象に、「(第3次計画策定時に調査した項目を含む)独自調査」を実施し、経年変化と実状を把握する。

【項目】「読書への関心」「読書の状況」「図書館の利用状況」「読書量の変化」「電子書籍の利用状況」「読書量を増やしていくためのアイデア」等

Q.1) 読書は好きですか。

Q.2) どのような本を読んでいますか。

Q.3) どのような場所で本を読みますか。

Q.4) 先月(令和3年10月)1か月の間に、学校の図書館に何回行きましたか。

Q.5) 先月1か月の間に、本を何冊読みましたか。

Q.6) これまでを振り返って、「小学校に入学する前」「小学1～3年生」「小学4～6年生」「中学生」それぞれ時期に、どれくらいの本を読みましたか。

Q.7) 「中学生」の時と比べて、高校生になって本を読む時間や本の量は変わりましたか。

Q.8) 先月1か月の間に、平日(学校の授業時間以外)、1日当たりどれくらいの時間本を読みましたか。

Q.9) 本を読まなかった理由があれば教えてください。

Q.10) 先月1か月の間に、「電子書籍」を何点読みましたか。

Q.11) 先月1か月の間に、「電子書籍」を1日当たり、どれくらいの時間読みましたか。

Q.12) 「古賀市立図書館の電子図書館」を利用したことがありますか、また今後利用したいと思いますか。

Q.13) どのようにすれば、あなたは「もっと学校図書館を利用したくなる」と思いますか。

Q.14) どのようにすれば、あなたは「もっと市立図書館を利用したくなる」と思いますか。